

「どうにかせんかい」 2 題を考える

「炊き出しの分離」と「就労枠の拡大」を「どうにかせんかい」と

「生保、生保という前にすることあるやろ」というけれど・・・

誰もが懸命に考えてはいるが・・・

このところ、夜間学校ニュースを配っていると、生活保護へいくことを進める姿勢に、疑問があると声をかけられることがあります。

一人は、「炊き出しの列は、生活保護を受けている者の方が多い。あれをなんとかせんかい」

もう一人の人は、「特掃で 15 日働けるようにしたらええんや、そしたら、生活保護なんかいらん」

まことに、ごもつともな意見と聞きました。

しかし、そのことと生活保護推進とは、少し違うことのように思います。

「風化」という言葉があります。国語辞書によれば、「①上に立つ人の徳によって人々が教化されること。

②地表の岩石が水や空気的作用を受けてくずれ、土砂になる現象。③「ひゆ的に」ある主義・思想などが次第

にくずれていくこと。また、体験による生々しい記憶や印象が次第に薄れていくこと。」ということですが、人

が行うことや制度も、長期間続くものは、風化し、中身が変わることがあります。

炊き出しは、緊急時の一時しのぎに行われるのが、本来の形態です。

釜ヶ崎では、日雇い仕事が大きく減少し、野宿を余儀なくされる労働者が多いにもかかわらず、行政の対策が不十分なことから、炊き出しが始められました。

それが、必要だったから始められたことは確かです。

1970 年代のテント村から今日まで、炊き出し歴史があります。時により、炊き出しの列は長くなったり、短くなったりしました。つい最近まで、その理由の一番大きな理由は、釜ヶ崎に仕事があるかないかでした。

しかし、最近では、「炊き出しの列は、生活保護を受けている者の方が多い。」という声に示されているように、月末であるか月初めであるかによって列が長くなったり短くなったりする傾向があるようです。

このことは、炊き出しの意味が変わったことを示しています。仕事がなく、食うに困っている人の炊き出しであるとともに、生活保護のお金の使い方に難のある人の食費の補いの役割を担っている。

現在の釜ヶ崎の炊き出しは、二つの役割を担っていることになり
ますが、そのように変わったのは、かつて炊き出しや夜間宿所を利用
していた人たちが、生活保護を受けるようになり、今や人数的には釜ヶ
崎の多数派といえるほどの規模になっているからです。
生活保護制度を活用している内の多くの人は、生活保護費の範囲内
で生活を切り回しているのですが、これだけ数が増えれば、うまく生活
を切り回せない人も目立つ数になります。

「どうにかせんかい」といった人は、炊き出しを、本当に困ってい
る人と生保受給者とに分けて別々に行うべきだ、といっています。

生保受給者を閉め出せと言っていないところが、思いやりあるとこ
ろだと思っています。

私はもっと冷淡に、生活保護受給者対象の炊き出しは shouldn't、金
銭管理がうまくいかない人には、お金を使う暇がないように、社会的有
用労働をあてがうべきだと思っています。

路上で将棋や碁をしなくてもすむような、地域の憩いの場が作られ
るべきだとも思っています。

いろいろあって、生活保護制度を活用しにくい人も、今の選択は、
それしかないと思ひ定め、生活保護制度を活用するよう勧めたいと思
っています。

そうすれば、「炊き出し」はなくすことができます。炊き出しは、ど
う考えても一時しのぎのものです。なくせる状況を作ることが、本

筋だと思っています。

「特掃」も、変質しています。働いて収入を得る機会の提供が本
来の趣旨ですが、高齢化・体力の衰えとともに、「楽して収入を得
るもの」に変わりつつあります(皆が皆そういう意識であるとは思
いません)。また、他に年金等の収入がある人たちの収入の補いの
制度という側面も強まりつつあるように思います(善悪を問わず)。

仕事がなく困窮する日雇労働者や野宿を余儀なくされている人
々に、就労機会を提供し、就労意欲の持続を計るとともに、少しで
も収入を提供するという本来の趣旨が薄れつつあります。

また、世の中の状況は、若い人でも就職難です。来年大学卒業す
る人の6割程度しか就職が決まっていない。景気がよくなっても、
雇用が増える時代ではなくなったと、学者・評論家もいうようにな
りました。

「仕事」と「収入」を分離しないと、働く貧乏人が増えるばかり
で、問題解決にならない、要するに、社会保障制度を組み替えない
といけない、と。

「働いたお金で生活を維持する」という考えを軸にした資本主義
の仕組みも、「風化」している、というか、「劣化」しています。

多くの人の頭が切り替わり、新しい仕組みができるまで、まだま
だ時間がかかります。それまでは、炊き出しや夜間宿所に避難する
のでなく、生活保護制度に避難しておくのが最善と思っています。